

令和6年度積算線量測定結果

調査地点:佐世保港

ポイント番号	測定結果(μGy / 91日)			
	第1・四半期 (4月16日～7月16日)	第2・四半期 (7月16日～10月15日)	第3・四半期 (10月15日～1月14日)	第4・四半期 (1月14日～4月15日)
1	127 ± 1.5	126 ± 0.0	125 ± 0.6	124 ± 1.7
2	129 ± 0.6	132 ± 1.1	127 ± 0.6	125 ± 1.5
3	109 ± 0.6* ¹	108 ± 0.6* ³	107 ± 1.0	105 ± 1.5
4	148 ± 0.6* ¹	149 ± 2.1* ³	146 ± 0.6	144 ± 1.7
5	150 ± 1.6* ²	154 ± 1.5	150 ± 0.6	147 ± 0.6
6	117 ± 0.6* ²	115 ± 0.6	115 ± 1.1	113 ± 2.0
7	111 ± 1.2* ²	114 ± 1.5	109 ± 0.6	110 ± 1.1
8	129 ± 0.6	130 ± 0.6	126 ± 2.9	127 ± 1.0
9	115 ± 0.6	117 ± 0.0	114 ± 0.6	111 ± 1.5
10	106 ± 0.6	102 ± 0.9* ⁴	—* ⁵	—* ⁵
比較対照	51 ± 0.4 (4月10日～7月24日)	51 ± 0.9 (7月9日～10月18日)	52 ± 0.5 (10月8日～1月17日)	51 ± 0.6 (1月7日～4月22日)

* 1: 設置期間は4月17日～7月17日である。

* 3: 設置期間は7月17日～10月15日である。

* 2: 設置期間は4月17日～7月16日である。

* 4: 局舎工事により9月10日に線量計を先行回収した。

* 5: 局舎工事のため実施せず。

注) 1 ポイント当り蛍光ガラス線量計3個を四半期毎(約3ヶ月間)収納箱に設置し、積算線量を測定した。

測定結果は各ポイントにおける測定値の平均値とし、誤差は標準偏差を示した。

比較対照は宇宙線及びセルフドーズの寄与分を見積もるために蛍光ガラス線量計6個を日本分析センターの鉛容器内に保管し、同様に積算線量を測定した。なお、各ポイントの測定結果から比較対照の測定結果を減じることはしていない。